

SCAPARA 研究奨励事業 募集要項

1. 募集の趣旨

爬虫類と両生類の臨床と病理のための研究会（SCAPARA）は、爬虫類および両生類に関する様々な分野の研究を積極的に奨励推進し、これらの動物の種の保存、科学的知見と技術の確立と普及、これらの動物を対象とする専門家、研究者の育成を推進する目的で設立された。従って、この目的に貢献すると判断される専門家や研究者に奨励金を交付する。

2. 募集する分野

爬虫類と両生類に関する研究すべて（生態学、分類学、解剖・生理学、臨床医療分野、微生物学、寄生虫学、病理学など）あるいは SCAPARA が募集する課題研究。

3. 交付件数及び交付額など

- （1）交付件数：2 件／年程度（採択がない場合もある）
- （2）交付額：原則 1 件につき 最高 30 万円／年とする。
- （3）継続研究：1 テーマに関して 3 回まで継続できる。
- （4）2 年目以降の交付額は 15 万円／年とする。
- （5）交付：募集年度の翌年度 4 月。
- （6）執行期間：支給開始の 1 年度内（4 月～翌年 3 月まで）。

4. 応募資格

次の条件に適合する者とする。

- （1）SCAPARA 会員歴が 1 年以上の会員。
- （2）責任をもって研究を遂行でき、かつ、受給者としての義務（8 に記載）を果たせること。

5. 応募手続き

- （1）申請書：1 通（様式 1）および研究履歴書（様式 1-別紙）
- （2）推薦書：2 名より各 1 通（様式 2）、計 2 通＊

＊その内 1 通は会員からの推薦とする。

推薦者が推薦できる申請数は 1 人につき 1 件のみとする。

- （3）応募締切日：募集年度の **2026 年 11 月 16 日 17:00** まで。
- （4）提出方法：申請書、推薦書ともに PDF ファイルをメールで SCAPARA 事務局に提出する。

6. 採否の通知

募集年度 11 月末～12 月上旬に、次のとおり通知および公表する。

- (1) 申請者に直接、メールで採否を通知する。
- (2) SCAPARA HP に採択演題の研究テーマ、申請者氏名および所属機関を掲示。*
- * 申請演題数と採択演題数も公表する。一方、不採択された申請内容は公表しない。

7. 奨励金の交付

募集年度の次年度の 4 月に交付する。

8. 受給者の義務

- (1) 受給者は、奨励金の収支に関する書類を整理保管し、受給年の翌年の 10 月末日までに収支報告書を SCAPARA 事務局に提出する。
- (2) 受給者は、受給年の翌年のワークショップで報告するとともに、年度末に研究成果報告書（様式 3）を SCAPARA 事務局に提出する。
- (3) 採択された研究を継続して申請する場合、受給者は受給年のワークショップで発表する。そして、申請の際、研究の途中経過報告書（様式 4）を提出する。

特段の理由なく、上記の義務が遂行されない場合は奨励金の返還が求められることがある。

9. その他

- (1) 本研究内容を学術雑誌および学術集会で公表する場合には、SCAPARA の助成を受けていることを明記する。また、リプリント 1 部（あるいは PDF）、発表抄録を SCAPARA 事務局に提出すること。
- (2) 申請書の個人情報ならびに申請内容は、SCAPARA の助成事業を遂行する範囲でのみ利用する。

10. 選考方法

- (1) 選考委員会の構成

選考委員は次のとおり構成される。

- ① SCAPARA 役員全員
 - ② 会員の中からその分野の専門家 1 名以上を含む役員以外の者 2 名（自薦および推薦）
 - ③ 役員以外の者 2 名
- （少なくとも 1 名は会員であること。また 1 名はその分野の専門家であること）

ただし、申請者および申請グループに入っている役員および関係者（推薦者を含む）は審議に加わらない。

- ④ 第 1 回目の選考委員会は SCAPARA 事務局が招集し、その後の選考委員会の開催は選考委員会委

員によって互選された選考委員長に一任する。

(2) 選考方法

- ① 書類審査とする。
- ② 選考会議事録を残す。
- ③ 採択は選考委員会の多数決をもって決定する。
- ④ 採択理由書を作成する。
- ⑤ 採択課題の決定後、選考委員会委員長は選考結果を SCAPARA 役員会（以下役員会）に報告する。
- ⑥ 役員会の承認を得て、正式に採択課題を決定し、SCAPARA 事務局より通知、公表する。
- ⑦ 受給者の決定は 11 月中旬までに行う。

規定 2024 年 12 月 1 日 施行

改正 2025 年 10 月 5 日 施行

【様式 1】

SCAPARA 研究奨励事業 申請書

テーマ：●●トカゲの代謝性疾患に関する研究

氏名（ふりがな）	
生年月日（年齢）	
所属（役職）	
資格（会員歴、会員番号）	
住所（所属）	
住所（自宅）	
共同研究者	1. 氏名（所属） 2. 共同研究者全員を記載する。
推薦者（2 名）	1. 氏名（所属） 2. 氏名（所属）

留意（この枠は、提出時に削除してください。）

- ・すべてを含めて 4 ページに収める。
- ・余白を修正しない。
- ・次の 1～7 の項目名を削除しない。
- ・PDF で提出する。

1. 背景（どこまで明らかになっていて、何がわからないのか／解決されていない点）**2. 目的****3. 期待される成果とその効果****4. 材料と方法****5. タイムスケジュール****6. 支出計画書**

7. 学術集会、投稿雑誌など公表を予定するもの（名称と発表／掲載時期）

【様式 1-別紙】

研究履歴書

1. SCAPARA 活動参加状況（ワークショップ、症例検討会などへの参加、発表・講演）（直近 5 年）
2. その他学会発表歴（直近 5 年、爬虫類・両生類に関する内容 5 件まで）
3. 論文発表歴（直近 5 年、爬虫類・両生類に関する内容 5 件まで）

【様式2】

SCAPARA 研究奨励事業 推薦書

推薦者氏名（ふりがな）	
所属	
連絡先	Email : 電話 :
専門・活動分野	
SCAPARA 会員の有無	☐ 会員（会員 No.） ☐ 非会員 ☒ を入れてください。

推薦対象者	
テーマ	

1. 推薦内容

留意（この枠は、削除してください。）

- ・すべてを含めて1ページに収める。
- ・余白を修正しない。
- ・PDFで提出する。

2. 評価

以下の項目について、5段階法で評価してください。

5：特に優れている、4：優れている、3：普通、2：やや劣っている、1：劣っている

内 容	評価（数字を記入）
（1）SCAPARA の研究奨励・支援事業の趣旨をよく理解した活動内容か	
（2）成果は、生態系・生物多様性保全、種の保存、獣医学、生物学および生態学など、いずれかの分野の有用な情報となり得るか？	
（3）遂行能力を有しているか（知識、技術など）？	
（4）遂行環境が整っているか？	
合計点	

テーマ：●●トカゲの代謝性疾患に関する研究

氏名（ふりがな）	
生年月日（年齢）	
所属（役職）	
資格	
住所（所属）	
住所（自宅）	
共同研究者	1. 氏名（所属） 2.

留意（この枠は、削除してください。）

- ・すべてを含めて2ページに収める。
- ・余白を修正しない。
- ・次の1～4の項目名は削除しない。
- ・PDFで提出する。

1. 背景・目的**2. 材料と方法****3. 結果****4. 考察（結論）**

【様式4】 SCAPARA 研究奨励事業 研究経過報告書（対象：継続申請者）

留意（この枠は、削除してください。）

- ・すべてを含めて1ページ内に収める。
- ・余白を修正しない。
- ・次の1～3の項目名を削除しない。
- ・PDFで提出する。

テーマ	
氏名（ふりがな）	
所属	
継続回数	2回目 / 3回目 （継続採用された時の回数を選択）

1. 背景・目的

2. 結果

3. 継続理由と見込まれる成果